

NYマーケットレポート (2016年1月21日)

NY市場では、株価や原油価格が大きく上昇したことを受けて、投資家のリスク回避の動きが後退し、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ただ、序盤に発表された米新規失業保険申請件数やフィラデルフィア連銀景況指数が冴えない内容となったこともあり、ドルは序盤に下げられる場面もあった。一方、ドラギ ECB 総裁が、定例会見で次回3月の理事会で追加緩和を打ち出すことを示唆したことを受けて、ユーロが主要通貨に対して下落する動きとなった。しかし、その後はドルや円に対して堅調な動きとなった。また、原油が大きく上昇したことから、豪ドルなどの資源国通貨は、比較的堅調な動きが続いた。

2016/1/21 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	116.76	117.49	116.48
EUR/JPY	127.34	127.71	127.14
GBP/JPY	165.42	166.81	164.87
AUD/JPY	80.43	81.64	80.09
EUR/USD	1.0908	1.0922	1.0868

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	117.18	116.72
EUR/JPY	127.59	127.24
GBP/JPY	166.05	164.47
AUD/JPY	81.09	80.43
EUR/USD	1.0916	1.0886

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	16017.26	-398.93
ハンセン指数	18542.15	-344.15
上海総合	2880.48	-96.21
韓国総合指数	1840.53	-4.92
豪ASX200	4864.00	+22.48
インドSENSEX指数	23962.21	-99.83
シンガポールST指数	2532.70	-27.07

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	5773.79	+100.21
仏CAC40	4206.40	+81.45
独DAX	9574.16	+182.52
ST欧州600	328.51	+6.22
西IBEX35指数	8444.20	+162.80
伊FTSE MIB指数	18723.22	+755.31
南ア 全株指数	46282.02	-47.76

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	117.81	117.82	116.87
EUR/JPY	128.14	128.20	126.18
GBP/JPY	167.57	167.73	164.72
AUD/JPY	82.59	82.65	80.72
NZD/JPY	77.05	77.25	75.06
EUR/USD	1.0878	1.0922	1.0779
AUD/USD	0.7010	0.7018	0.6907

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	15882.68	+115.94
S&P500	1868.99	+9.66
NASDAQ	4472.05	+0.37
日経225 (CME)	16460	+105
🇨🇦 トロント総合	12035.86	+192.75
🇮🇹 ポルサ指数	41166.88	+322.47
🇧🇷 ボヘスバ指数	37717.11	+71.63

1/22 経済指標スケジュール

17:00 ~ 18:00	【フランス】【ドイツ】【欧州】1月製造業・非製造業PMI
18:30	【英国】12月公共部門純借入所要額
18:30	【英国】12月公共部門純借入額
18:30	【英国】12月小売売上高指数
22:30	【米国】12月シカゴ連銀全米活動指数
22:30	【カナダ】12月消費者物価指数
22:30	【カナダ】11月小売売上高
23:45	【メキシコ】1月消費者物価指数(隔週)
23:45	【米国】1月マーケット米国製造業PMI
00:00	【米国】12月中古住宅販売件数
00:00	【米国】12月景気先行指標総合指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1098.20	-8.00
NY 原油	29.53	+1.18
CMEコーン	367.00	-1.75
CBOT 大豆	878.50	+4.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.83%	0.82%
3年債	1.06%	1.05%
5年債	1.44%	1.42%
7年債	1.77%	1.75%
10年債	2.03%	1.99%
30年債	2.81%	2.76%

1/22 主要会議・講演・その他予定

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

欧州タイム

21:05

《企業決算》

米ベライゾン

第4四半期の調整後1株利益は0.89ドル（予想0.88ドル）

21:45

《経済指標の結果》

ECB 主要政策金利 0.05%（予想 0.05%・前回 0.05%）

中銀預金金利 -0.30%（予想 -0.30%・前回 -0.30%）

限界貸出金利 0.30%（予想 0.30%・前回 0.30%）



（出所：ブルームバーグ）

22:00

ドル/円 116.96 ユーロ/円 127.49 ユーロ/ドル 1.0902

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	5710.94	+37.36	ダウ 先物ミニ	15674	-43
仏 CAC40	4152.01	+27.06	S&P 500 ミニ	1851.25	-3.75
独 DAX	9471.85	+80.21	NASDAQ 100 ミニ	4127.00	-6.00

(出所: SBILM)

22:00

◀ 経済指標の結果 ▶

12月ポーランド生産者物価指数(前月比) -0.2%(予想 -0.2%・前回 0.0%)

12月ポーランド生産者物価指数(前年比) -0.8%(予想 -0.9%・前回 -1.8%)

12月ポーランド小売売上高(前月比) 21.5%(予想 19.5%・前回 -5.9%)

12月ポーランド小売売上高(前年比) 4.9%(予想 3.2%・前回 3.3%)



(出所: ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

22 : 20

◀ 要人発言 ▶

ルー・米財務長官

- ・「米国は不公正な通貨切り下げと闘う」
- ・「中国の政策は複雑」
- ・「中国の政策コミュニケーションは一様でない」
- ・「強いドルは強い米経済を反映」

22 : 30

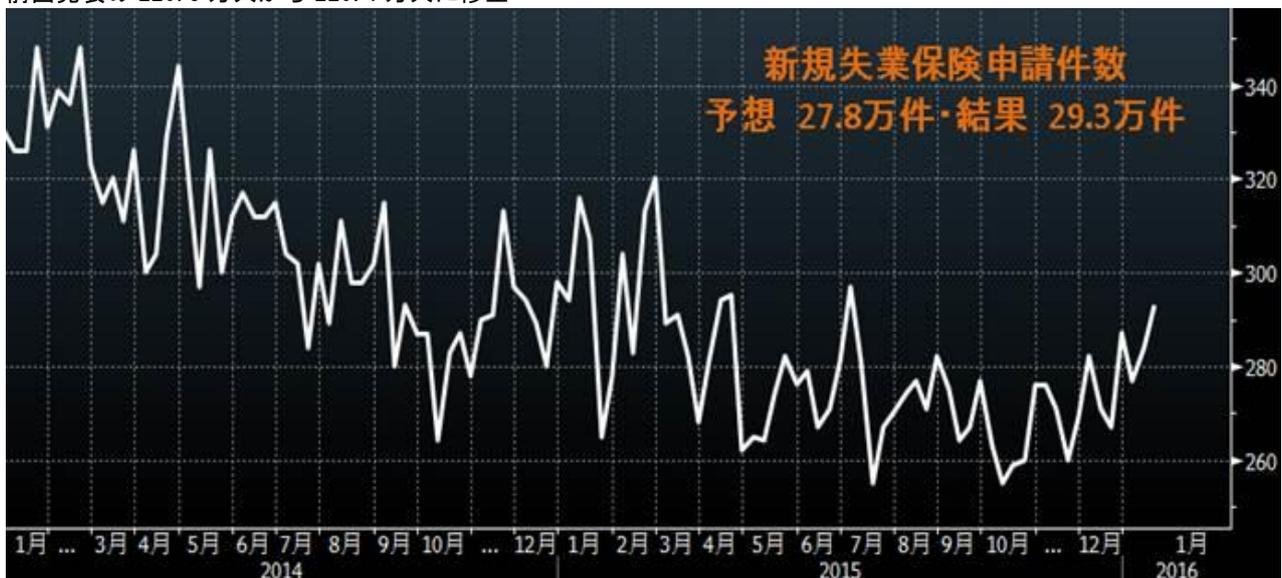
◀ 経済指標の結果 ▶

新規失業保険申請件数 29.3 万件 (予想 27.8 万件・前回 28.3 万件)

前回発表の 28.4 万件から 28.3 万件に修正

失業保険継続受給者数 220.8 万人 (予想 225.0 万人・前回 226.4 万人)

前回発表の 226.3 万人から 226.4 万人に修正



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
16/01/02	293,000	10,000	285,000	*****	*****
16/01/02	284,000	6,000	278,750	2,208,000	1.6%
16/01/02	277,000	-10,000	275,750	2,264,000	1.7%
15/12/26	287,000	+20,000	277,000	2,234,000	1.6%
15/12/19	267,000	-5,000	272,500	2,205,000	1.6%
15/12/12	272,000	-10,000	270,750	2,195,000	1.6%
15/12/05	282,000	+13,000	270,750	2,242,000	1.7%
15/11/28	269,000	+9,000	269,250	2,245,000	1.7%
15/11/21	260,000	-12,000	271,000	2,161,000	1.6%
15/11/14	272,000	-4,000	271,000	2,155,000	1.6%
15/11/07	276,000	0	267,750	2,173,000	1.6%
15/10/31	276,000	+16,000	262,750	2,177,000	1.6%
15/10/24	260,000	+1,000	259,250	2,170,000	1.6%
15/10/17	259,000	+3,000	263,250	2,146,000	1.6%
15/10/10	256,000	-6,000	265,250	2,172,000	1.6%
15/10/03	262,000	-14,000	267,250	2,165,000	1.6%

受給者数は集計が1週間遅れる

22 : 30

《 経済指標の結果 》

1月米フィラデルフィア連銀景況指数 -3.5 (予想 -5.9・前回 -10.2)
 前回発表の-5.9から-10.2に修正



(出所：ブルームバーグ)

《フィラデルフィア連銀指数》

1月・12月・11月・10月・9月・8月

景況指数	-3.5	-10.2	-5.7	-5.9	-3.6	3.4
仕入価格	-1.1	-8.3	-7.5	-3.2	-3.1	3.8
販売価格	-2.8	-8.5	-4.1	-2.8	-5.5	-3.4
新規受注	-1.4	-11.1	-7.8	-9.8	8.6	2.5
出荷	9.6	-2.1	-3.6	-5.3	9.3	11.0
受注残	-8.8	-17.6	-4.3	-11.7	-7.5	-3.4
入荷遅滞	-7.6	-6.1	-2.9	-5.0	-2.1	-2.2
在庫水準	-15.7	-5.7	-9.9	-16.4	-2.8	-1.9
雇用者数	-1.9	2.2	1.1	-2.8	6.1	5.3

6ヵ月先予想

1月・12月・11月・10月・9月・8月

景況指数	19.1	24.1	36.9	31.4	36.8	37.6
仕入価格	18.8	26.0	22.4	18.4	26.9	33.1
販売価格	10.1	15.0	10.8	9.7	6.4	8.5
新規受注	21.1	34.5	44.9	35.4	40.3	40.5
出荷	22.0	36.6	40.1	34.5	37.2	32.3
受注残	0.2	7.4	14.2	8.8	12.5	19.0
入荷遅滞	-6.5	-2.3	0.8	-1.4	1.2	0.6
在庫水準	1.5	-1.7	-1.2	-4.6	0.9	7.8
雇用者数	5.5	7.0	25.7	12.1	16.3	18.7

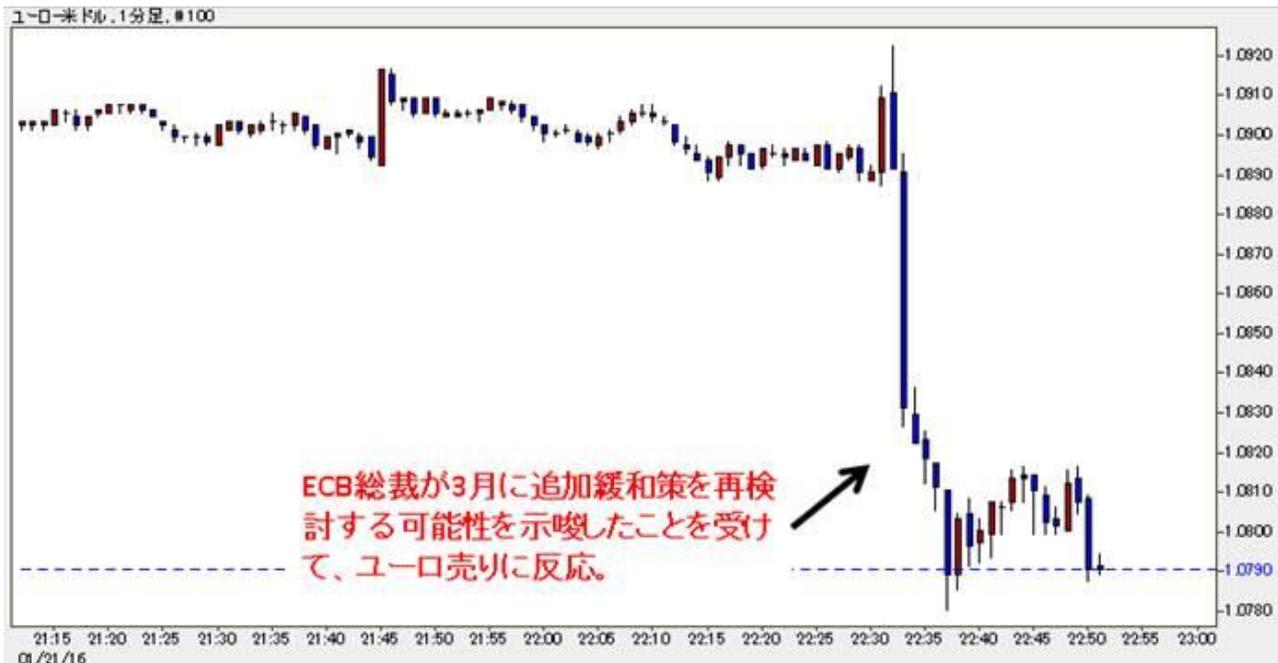
22:35

《 要人発言 》

ドラギ ECB 総裁～定例会見

- ・「金利は当面の間、現在の水準か一段と低いレベルとなる見通し」
- ・「資産買入は順調に進んでいる、好ましい影響みられる」
- ・「政策措置が機能しているのは明らか、実体経済・クレジット・金融状況は改善」
- ・「12月の決定は完全に適切」
- ・「下振れリスクが再び高まった、ユーロ圏のインフレ状況は予想より弱い」
- ・「政策スタンスを見直し、再検討する必要あるだろう」
- ・「全ての政策オプションの技術的状況を確実にするための作業を行う」
- ・「第4・四半期の成長に向けた勢い持続を調査は示している、景気回復続く見通し」

- ・「政策措置が内需を支援、石油価格下落が家計消費を支援」
- ・「ユーロ圏の財政スタンスはやや拡張的になりつつある、景気回復は引き続き抑制される見通し」
- ・「成長に下振れリスク、世界経済の見通し不透明性の高まりに関連」
- ・「市場に伝える今回の内容について政策委員会は全会一致」
- ・「ECBは行動する能力・意欲・決意がある、どこまで政策を実施したいかとの点で限度はない」
- ・「政策ツールは多い、詳細について今日議論したくはなかった」
- ・「状況の変化に応じて政策措置を調整するのは明白」
- ・「市場ボラティリティの高まりが金融状況のタイト化につながる可能性」



(出所：ネットダニア)

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	15773.04	+6.30
ナスダック	4464.94	-6.74

(出所：SBILM)

23 : 45

＜ 要人発言 ＞

李国家副主席

- ・「中国は世界の成長エンジンであり続ける」
- ・「人民元切り下げの意図はない」
- ・「中国は健全な株式市場を望む」
- ・「相場の過剰な動きは投機家を利する」
- ・「米利上げが為替相場の荒い動きを誘因」
- ・「通貨の変動は市場の力が原因」

- ・「人民元相場の変動は緩やか」
- ・「中国は人民元の市場拡大と安定継続を希望」
- ・「中国の株式市場はまだ成熟していない」

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

1月欧州消費者信頼感 -6.3 (予想 -5.7・前回 -5.7)



指標結果データ

◀ ユーロ圏消費者信頼感指数 ▶

1月・・・12月・・・11月・・・10月・・・9月・・・8月
 ユーロ圏消費者信頼感指数・・・-6.3・・・-5.7・・・-5.9・・・-7.5・・・-7.0・・・-6.7
 EU消費者信頼感指数・・・-4.2・・・-3.7・・・-4.4・・・-5.6・・・-5.4・・・-4.6

0 : 35

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、ECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁が追加金融緩和の3月実施を強く示唆したため、欧州主要株価が上昇となり、これを受けて米国市場でも堅調な動きとなった。

1 : 05

◀ EIA 米週間在庫統計 ▶

原油在庫・・・398万バレル増加
 ガソリン在庫・・・456万バレル増加
 留出油在庫・・・102万バレル減少

◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 米失業保険申請件数は、前週比+1万件の29.3万件と市場予想の27.8万件を上回る結果となり、2週連続で増加し、昨年7月4日までの週以来の高い水準となった。昨年3月7日までの週以降46週連続で30万人を下回って推移している。申請件数の4週移動平均は、前週比+6500件の28.5万件で、昨年4月18日までの週以来の多さとなった。集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-5.6万人の220.8万人と4週ぶりに減少した。受給者総数の4週移動平均は、前週比+3250人の222万7750人で、昨年9月19日までの週以来の高い水準となった。受給者比率は、前週比0.1ポイント低下の1.6%となった。

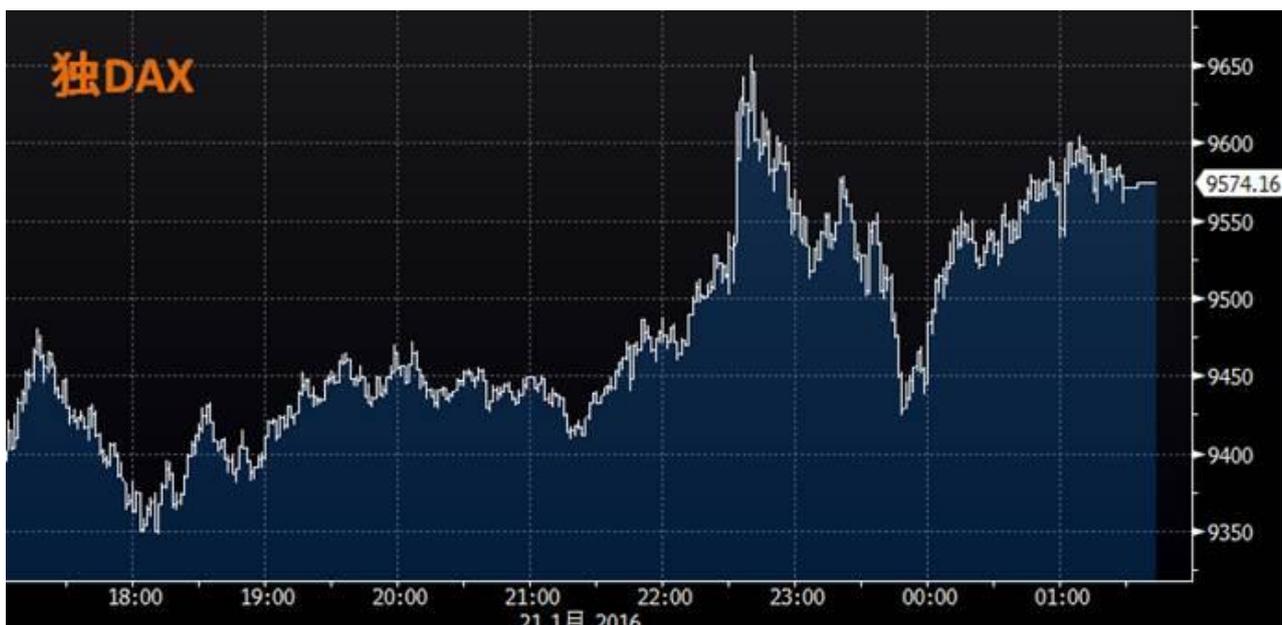
(2) 1月の米フィラデルフィア連銀製造業景況指数は、-3.5と市場予想の-5.7を上回る結果となったものの、5ヵ月連続のマイナスとなった。また、前月は-5.7から-10.2に下方修正された。販売価格は-2.8(前月-8.5)、新規受注が-1.4(-11.1)、仕入れ価格-1.1(-8.3)と前月から改善したものの、依然としてマイナスが続き、前回プラスだった雇用者数は-1.9(2.2)とマイナスに落ち込んだ。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	5773.79	+100.21
仏 CAC40	4206.40	+81.45
独 DAX	9574.16	+182.52
ストック欧州 600 指数	328.51	+6.22
ユーロファースト 300 指数	1294.05	26.42
スペイン IBEX35 指数	8444.20	+162.80
イタリア FTSE MIB 指数	18723.22	+755.31
南ア アフリカ全株指数	46282.02	-47.76

(出所: SBILM)

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、ドラギ ECB 総裁が、3月の理事会で追加緩和を打ち出すことを示唆したことが好感され、主要株価は軒並み大きく上昇となった。



(出所: ブルームバーグ)

2 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16007.12 (+240.38)、S&P500 1886.64 (+27.31) ナスダック 4530.29 (+58.61)

3 : 00

《米 10 年物 TIPS 入札》

最高落札利回り・・・0.725% (前回 0.664%)
最低落札利回り・・・0.500% (前回 0.388%)
最高利回り落札比率・・・65.06% (前回 75.83%)
応札倍率・・・2.19 倍 (前回 2.38 倍)
発行額・・・150 億ドル (前回 130 億ドル)

《欧州のポイント》

①ギリシャのチプラス首相は、自国向けの第 3 次金融支援について、欧州債権団の主張を受け入れ IMF (国際通貨基金) の参加を認めたと明らかにした。チプラス首相はドイツのショイブレ財務相らと共に、世界経済フォーラム年次総会 (ダボス会議) のパネルディスカッションに出席。ギリシャ政府としては 欧州当局のみで金融支援への対応は可能であると考えたものの、債権団の求めに応じたと説明した。首相は「長い間の議論で、さまざまな意見を聞いた。債権団の一部は IMF の参加を要請し、われわれは合意に至るために受け入れた。今回の合意内容が実行されるために、わが国はできる限りのことをしている」とも話した。一方でショイブレ独財務相は、ドイツなど各国議会は IMF が引き続き支援プログラムに参加することを条件として同意したと主張。この合意内容を変更するよう連邦議会に求めることは「火の付いたろうそくを持ってダイナマイトでいっぱいの部屋に入るようなものだ」と述べた。

②ECB (欧州中央銀行) は、定例政策委員会を開き、短期金利の調節手段である短期買いオペの最低応札金利を 0.05% で維持することを決めた。また、下限政策金利である中銀預金金利は -0.30%、上限政策金利の限界貸出金利は 0.30% でそれぞれ据え置かれた。原油価格の急落と中国経済の減速、これに端を築いた世界的な市場混乱を受け、過去最低の金利と 1 兆 5000 億ユーロ (約 190 兆円) の債券購入をもってしてもインフレ率を ECB が目指す 2% 弱に戻すには力不足との懸念が広がっている。

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、ドラギ ECB 総裁が追加緩和の実施を強く示唆し、欧州債券市場でドイツ国債などの利回りが低下したことから、相対的に利回りが高い米国債に買いが入る一方、欧米株の上昇で安全資産とされる米国債を売る動きも広がった。

午前の利回りは、30 年債が 2.76% (前日 2.76%)、10 年債が 1.99% (1.99%)、7 年債が 1.74% (1.74%)、5 年債が 1.41% (1.42%)、3 年債が 1.04% (1.05%)、2 年債が 0.82% (0.83%)。

《ポイント》

イラク石油相は、インタビューに応じ、イラク南部で今年、最大日量 40 万バレルの増産が見込まれると語った。欧米の制裁解除を受けたイランの原油増産方針や、イラクの生産増などもあり、国際石油市場における供給過剰は長引くことになる可能性もある。石油相は「実際のところ、イラクは (石油輸出) 契約に不足していない」と強調。「今のところ、イランが市場に復帰しても、イラク産原油に対する需要はわれわれの供給以上だ」と指摘した。さらに、「中国勢にとってイラク産原油は依然として割安だ」とした上で、「16 年分も完全に予約済みとなっている」と明かした。またアブドルマハディ石油相は、石油輸出国機構 (OPEC) 臨時総会開催の可能性について、OPEC 非加盟国と減産で協調できれば、臨時総会開催を支持すると明言。原油価格反転には OPEC と非 OPEC 諸国の協調減産合意が必要との見方を示した。

《ポイント》

南アフリカ中銀総裁は、政策金利の決定に先立ち、中銀が経済成長鈍化とインフレ率上昇という政策上のジレンマに直面しているとの認識を明らかにした。南ア中銀は昨年、政策金利を 50bp 引き上げた。通貨ランドの大幅安と干ばつに伴う食品価格の上昇を受けてインフレが加速する中で、今月 28 日も追加利上げがあると一部では予想している。クガニャゴ総裁は「南アフリカは金融政策上、直面する政策ジレンマから逃れることができない。われわれは成長鈍化とインフレ率の上昇を経験している。これはわれわれが予想しなかったことだ」と語った。総裁は、前回の政策決定以降、物価上昇率の見通しが悪化したと述べた。

4 : 30

NY 金は、中心限月が前日比 8.00 ドル安の 1 オンス=1098.20 ドルで取引を終了した。

5 : 35

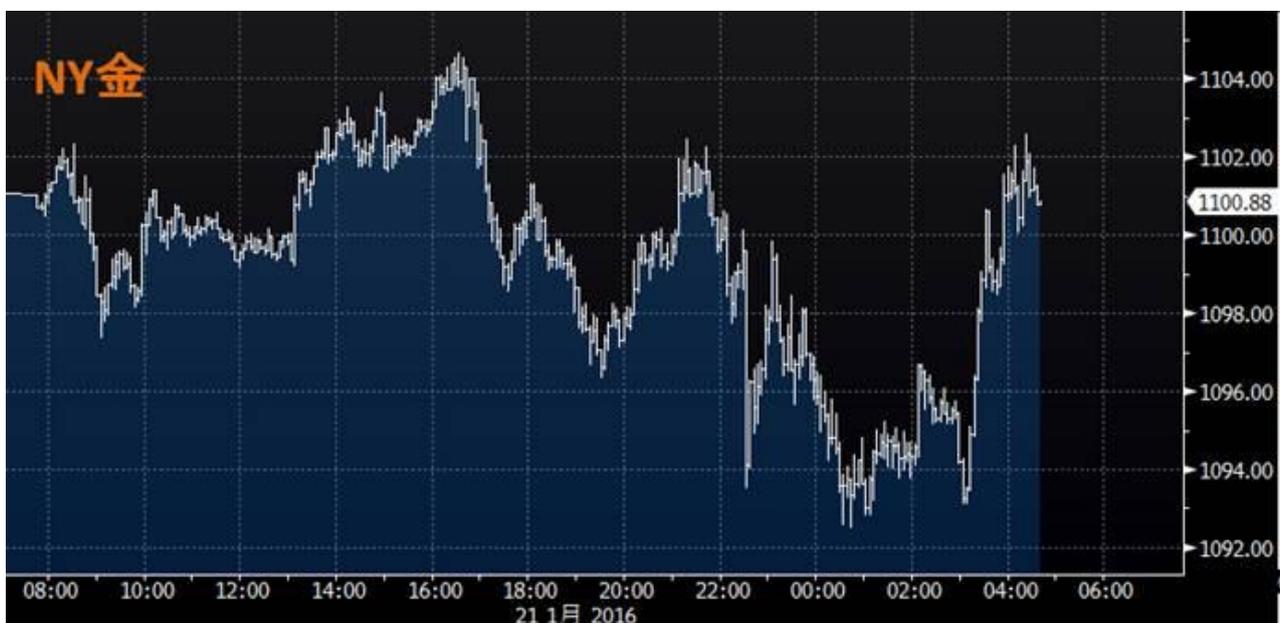
NY 原油は、中心限月が前日比 1.18 ドル高の 1 バレル=29.53 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1098.20	-8.00
NY 原油	29.53	+1.18

(出所:SBILM)

《 NY 金市場 》

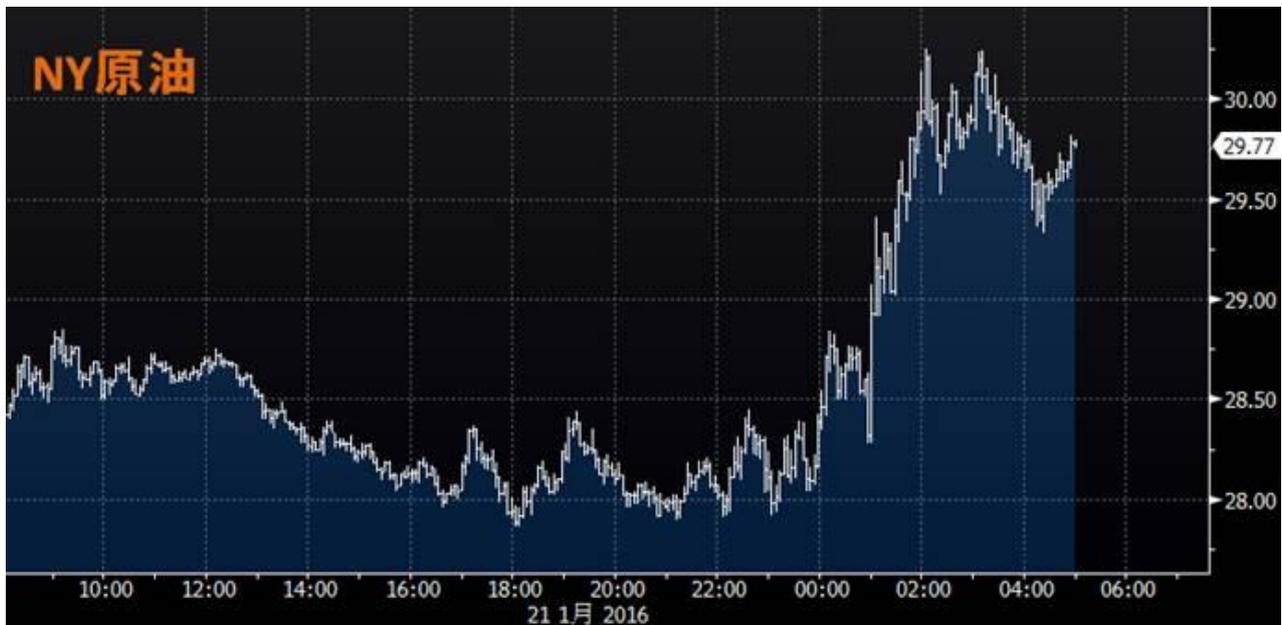
NY 金は、ドラギ ECB 総裁が追加金融緩和の実施を示唆したことからユーロ安・ドル高が進み、ドルの代替資産とされる金売る動きが広がった。また、欧米株が上昇したため、比較的安全な資産としての需要も後退した。



(出所:ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY原油は、米エネルギー情報局が発表した原油在庫の増加幅が、米国石油協会の統計より小さかったことをきっかけに、これまで下落していた原油を買い戻す動きが広がった。また、ドラギ ECB 総裁が追加金融緩和を示唆し、欧米株が上昇したことも支援材料となった。



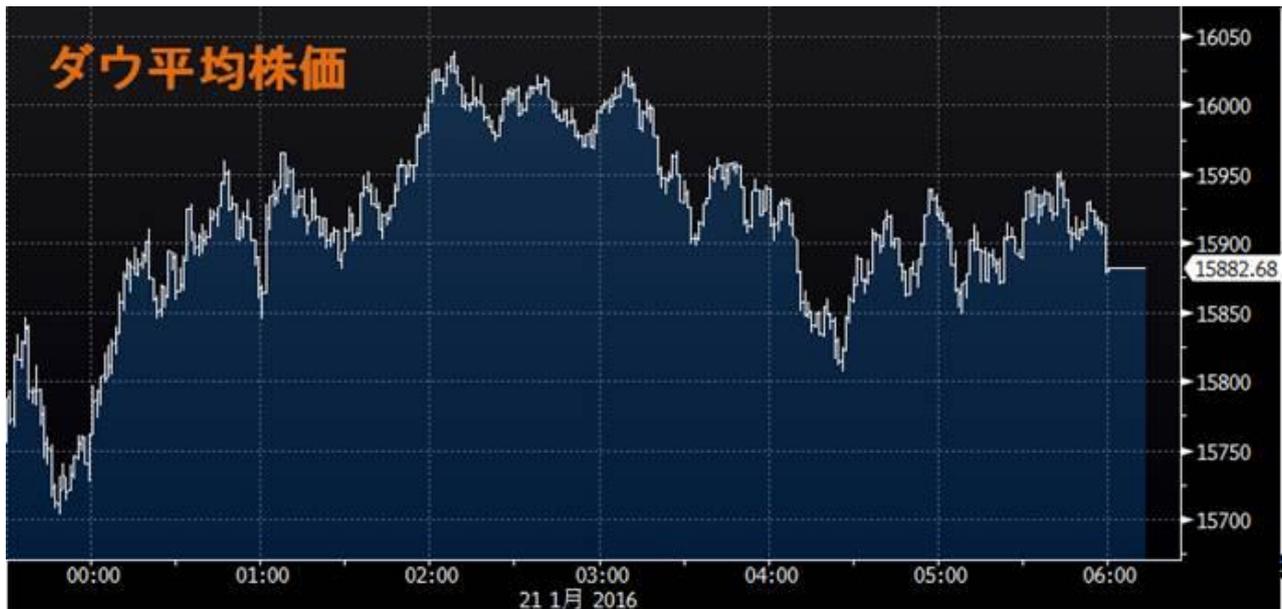
(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	15882.68	+115.94	16038.59	15704.66
S&P500 種	1868.99	+9.66	1889.85	1848.98
ナスダック	4472.05	+0.37	4537.15	4432.02

(出所：SBILM)

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、ドラギ ECB 総裁が追加金融緩和の3月実施を強く示唆したことを好感して、欧州主要株価が上昇となり、これを受けて米国市場でも軒並み堅調な動きとなった。また、原油価格の上昇など、リスク回避の動きが和らいだことも支援材料となった。ダウ平均株価は、序盤やや軟調な動きが見られたものの、その後は堅調な動きとなり、一時前日比で271ドル高まで上昇した。しかし、終盤には上げ幅を縮小する動きとなった。



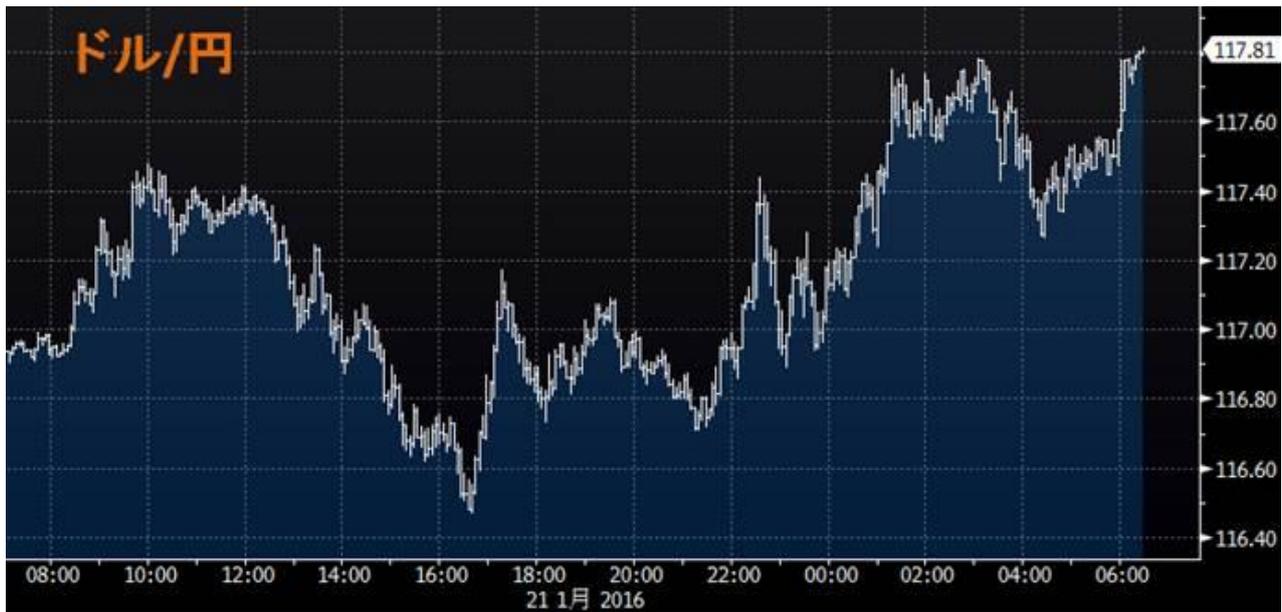
(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	117.81	117.82	116.87
EUR/JPY	128.14	128.20	126.18
GBP/JPY	167.57	167.73	164.72
AUD/JPY	82.59	82.65	80.72
NZD/JPY	77.05	77.25	75.06
EUR/USD	1.0878	1.0922	1.0779
AUD/USD	0.7010	0.7018	0.6907

(出所：SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、原油や株価が大きく上昇したことを受けて、投資家のリスク回避の動きが和らぎ、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ただ、ユーロは ECB 総裁が追加緩和の可能性を示唆したことから、主要通貨に対して下落する動きとなった。ただ、その後は買い戻しの動きが強まり、堅調な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。